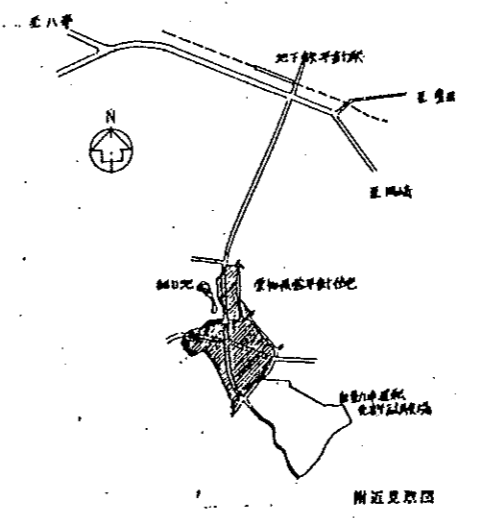
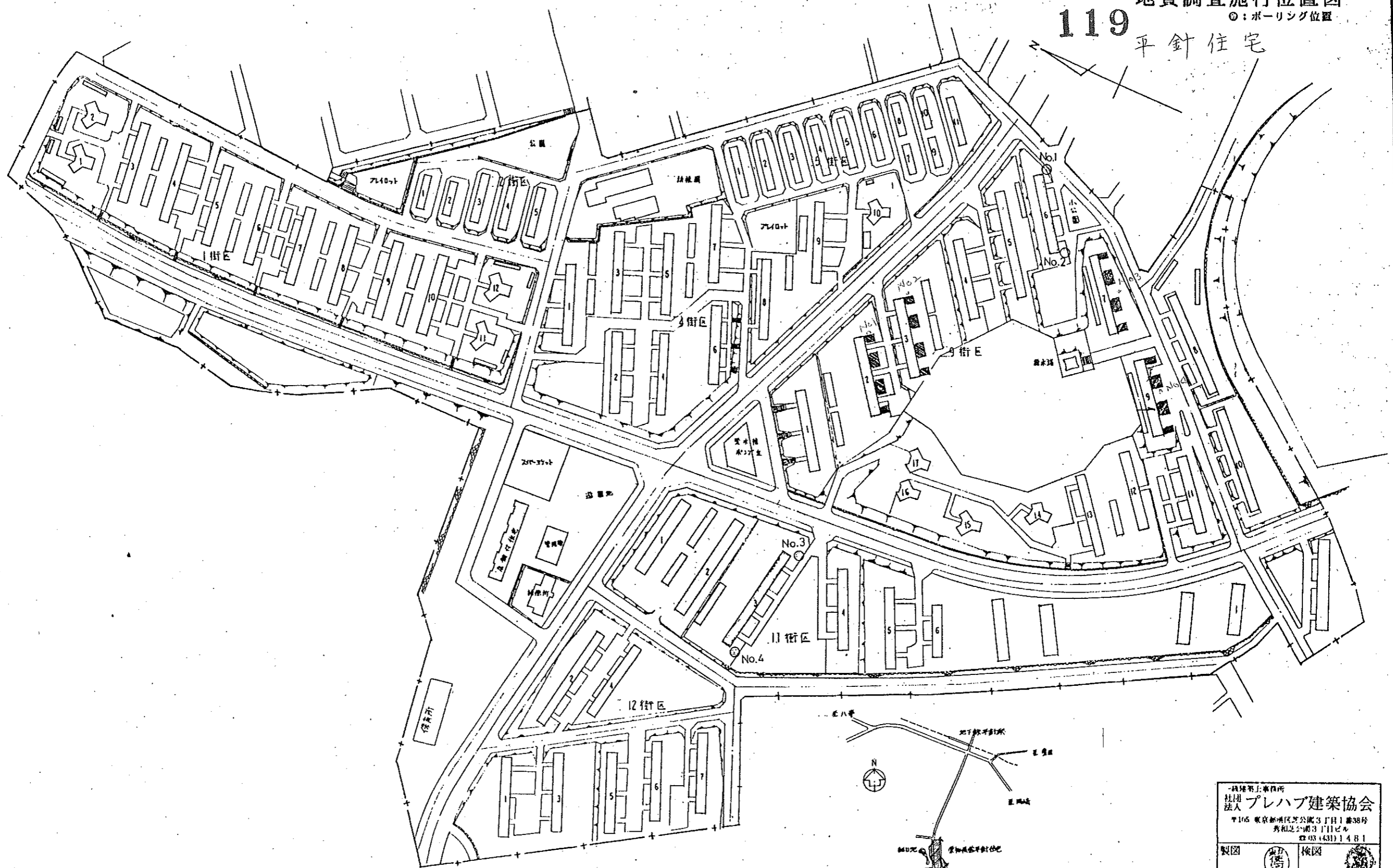


地質調査施行位置図



○：ボーリング位置


119



平針住宅



一級建築士事務所
 社団法人 プレハブ建築協会
 〒105 東京都港区芝公園3丁目1番38号
 秀和ビル3F 111ビル
 ☎ 03 (431) 1481

製図  検図 

一級建築士登録番号 11679 岡野 寛 

名称	平針住宅団地改善工事(第1水2工区)	設計	
図面名称	附近見取図	縮尺	1/150
図面番号	A-7	図番	62-B
設計		監理	
設計	愛知建築師会 平針住宅建築士会		

62-8566

ボーリング柱状図

調査名 平針佳宅地質調査

事業・工事名

ボーリング名	No. 1		調査位置	名古屋市区天白町平針地内		シートNo.	北緯 35° 6' 23"	
発注機関	愛知県建設部住宅建設課		調査期間	平成 1 年 10 月 11 日 ~ 1 年 10 月 13 日		東経	137° 0' 32"	
調査業者名	株式会社 中部ワエールボーリング社 電話 (052-781-4131)		現代理人	近藤義明		ボーリング 資格責任者	深尾幸男	
孔口標高	KBH -1.14m		現場	了		ハンマー 落下用具	トンビ	
総掘進長	25.45m		エンジン	K R - 100		ポンプ	V - 6	

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対稠度	記	孔内水位 (m)	標準貫入試験		原位置試験	試験採取	掘進月日
							10cmごとの 打撃回数	102030 (cm)			
1	1.30	シルト質細砂	シルト質細砂	硬い	上部、コンクリート張り 砂の粒径は細かい 含水量は中位	10/12 3.80	2 2 3	7 30			10
2	1.20	シルト質粘土	シルト質粘土	硬い	細砂を少量混入する 粘着性あり 含水量は少なく、硬質である		4 5 6	15 30			12
3	1.30	シルト質細砂	シルト質細砂	中ぐら	砂の粒径は細かい 含水量は中位からやや多い		3 4 4	11 30			13
4	0.90	細砂	細砂	中ぐら	シルト分を少量含む 含水量は中位からやや多い		7 7 7	22 30			14
5	0.95	シルト質細砂	シルト質細砂	固く 硬い	砂の粒径は細かい 含水量は多い		3 4 3	10 30			15
6	0.95	シルト質粘土	シルト質粘土	硬い	細砂を少量混入する 粘着性あり 含水量は少なく、硬質である		3 5 6	14 30			16
7	1.35	シルト質粘土	シルト質粘土	中ぐら	含水量は多い 砂の粒径は極めて細かい		4 5 6	15 30			17
8	0.75	シルト質細砂	シルト質細砂	中ぐら	際積炭化物を多く混入する 粘着性あり		3 2 3	8 30			18
9	0.70	シルト質粘土	シルト質粘土	固結した 非常に硬い	含水量少なく、固結状を呈す 粘着性あり 細砂を少量混入する		7 12 15	34 30			19
10	2.25	シルト質粘土	シルト質粘土	硬い	含水量少なく、固結状を呈す 粘着性あり 細砂を少量混入する		6 8 9	23 30			20
11	2.40	シルト質細砂	シルト質細砂	中ぐら	粘土分を含み、粘着性あり 含水量は中位から少ない 部分的にシルト分を多く混入する 砂の粒径は極めて細かい		5 6 6	17 30			21
12	0.80	細砂	細砂	密な	粒径は揃かく均一である 含水量は中位で詰まっている		7 7 7	21 30			22
13	2.40	シルト質細砂	シルト質細砂	中ぐら	シルト分を含む 含水量は中位からやや多い		5 5 6	16 30			23
14	0.80	シルト質細砂	シルト質細砂	中ぐら	中砂を少量含む 含水量は多い		4 7 5	16 30			24
15	1.90	シルト質細砂	シルト質細砂	中ぐら	中砂を少量含む 含水量は多い		14 14 14	16 47			25
16	2.40	シルト質粗砂	シルト質粗砂	密な	粒径は2~5mmの亜円盤 シルト分を含む		12 15 18	45 30			26
17	1.30	砂	砂	非常に密な	質粘土を挟む 含水量は中位からやや多く、良く詰まっている		28 32	80 20			27
18	2.40	砂	砂	非常に密な	粒径は5~15mmの亜円盤から亜角 質の砂を多く混入する 砂分は中~粗砂主体 シルト分を混入する		17 18 11	41 30			28
19	0.85	細砂	細砂	密な	シルト分を混入する 含水量は中位で、良く詰まっている		17 18 23	58 30			29
20	4.30	砂	砂	非常に密な	粒径は2~20mmの亜円盤 凝灰質の砂を混入する 砂分は中~粗砂主体 シルト分を混入する 含水量は中位からやや多く、良く詰まっている 下部、砂の混入がやや少なくなる		20 24 6 28	60 17			30
21	1.30	砂	砂	非常に密な			31 29 7	60 17			31
22	0.85	細砂	細砂	密な			22 22 18 18	58 30			32
23	2.40	砂	砂	非常に密な			22 22 22 18 18	58 30			33
24	4.30	砂	砂	非常に密な			22 22 22 18 18	58 30			34
25	4.30	砂	砂	非常に密な			22 22 22 18 18	58 30			35

ボーリング柱状図

調査名 平針住宅地地質調査

事業・工事名

ボーリング名	No. 2		調査位置	名古屋市天白区天白町平針地内	
発注機関	株式会社 中部ワイルドボーリング社		調査期間	平成 1 年 10 月 13 日 ~ 1 年 10 月 16 日	
調査業者名	電話 (052-781-4131)		現場代理人	アアア 鑑定者	
ボーリング高さ	KBH -0.25m	180°	主任技師	近藤義明	
ボーリング長さ	25.42m	90°	方角	K R - 1 0 0	
ボーリング径	180°	90°	使用機種	ハンマー落下用具	
ボーリング径	180°	90°	エンジン	ボンプ	
ボーリング径	180°	90°	シートのNo.	北緯 35° 6' 23"	
ボーリング径	180°	90°	東経	137° 0' 32"	
ボーリング径	180°	90°	ボーリング責任者	深尾幸男	
ボーリング径	180°	90°	ボーリング番号	V-6	

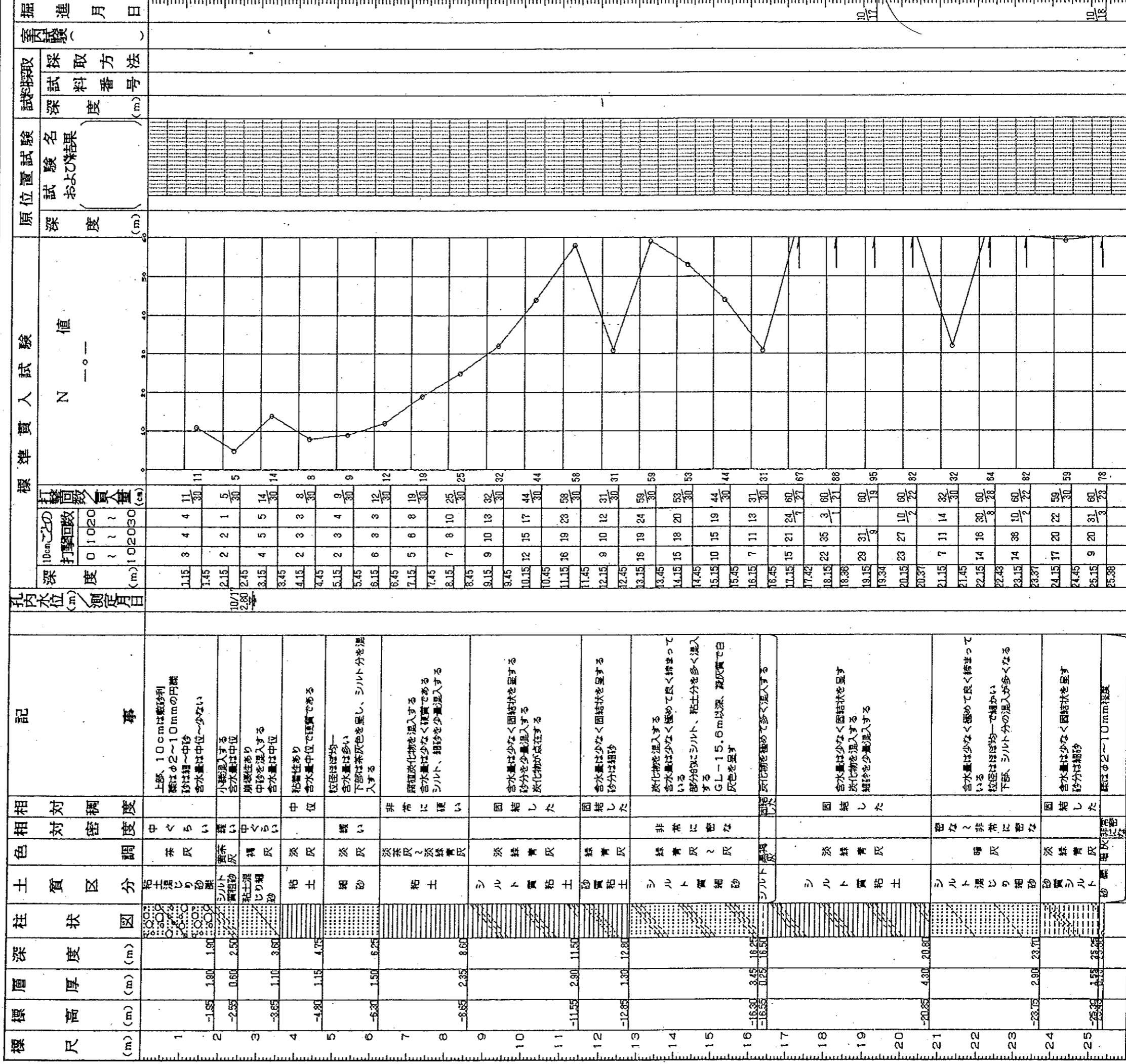
標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m)	測定月日	標準貫入試験		原位置試験	試験採取	掘進月日
										10cmごとの打撃回数	質量 (cm)			
1			シルト質細砂	青灰 ~ 黄赤灰	硬い	硬い	原状物、木片等混入し、部分的に粘土分多くなり不均質である 小粒が点在する 含水量は中位から少ない	10/13	10/13	8	8			10/13
2	2.50		粘土質細砂	赤灰 ~ 赤黄灰	中ぐらい	中ぐらい	砂の粒径は極めて細かい 部分的に粘土分多く混入し、粘着性あり 含水量は中位	2.45	10/13	8	8			10/13
3	2.10		シルト質粘土	淡灰	中	中	細砂を少量混入する 含水量は中位で、硬質である		10/13	12	11			10/13
4	2.10		シルト質粘土	淡灰 ~ 赤灰	中	中	砂の粒径は細かい 小粒が点在する 含水量は中位 GL-7.8m以深、含水量が多い		10/13	11	10			10/13
5	1.10		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は多い		10/13	13	13			10/13
6	3.00		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	13	13			10/13
7	0.80		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	15	15			10/13
8	2.00		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	14	14			10/13
9	2.00		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	14	14			10/13
10	4.10		細砂	青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	23	23			10/13
11	1.10		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	22	22			10/13
12	1.30		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	22	22			10/13
13	4.10		細砂	青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	22	22			10/13
14	1.10		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	24	24			10/13
15	1.30		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	21	21			10/13
16	2.80		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	25	25			10/13
17	1.20		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	24	24			10/13
18	1.20		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	24	24			10/13
19	2.82		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	24	24			10/13
20	1.20		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	24	24			10/13
21	3.82		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	24	24			10/13
22	2.50		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	24	24			10/13
23	2.50		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	24	24			10/13
24	2.50		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	24	24			10/13
25	2.50		シルト質粘土	淡青灰 ~ 黄赤灰	非常に硬い	非常に硬い	原状物混入物を入れて混入する 含水量は中位で、硬質である 粘着性あり GL-10.4~10.6mの間、細砂を混入する		10/13	24	24			10/13

ボーリング柱状図

調査名 平針住宅宅地質調査

事業・工事名

ボーリング名	No. 3		調査位置	名古屋市天白区天白町平針地内	
発注機関	愛知県建設部住宅建設課		シットNo.	北緯 35° 6' 24"	
調査業者名	株式会社 中部ワエルボーリング社 電話(052-781-4131)	主任技師	調査期間	平成 1年10月17日～ 1年10月18日	
孔口標高	KBM -0.15m	方向	現代理人	近藤義明	
総掘進長	25.38m	角度	試験機	ハンマー 落下用 ポンプ	
			エンジン	NT-13	
			試験者	ボリン	
			責任者	深尾幸男	



ボーリング柱状図

調査名 平針佳宅地質調査

事業・工事名

ボーリング名	No. 4		調査位置	名古屋市天白区天白町平針地内		
発注機関	愛知県建設部住宅建設課		調査期間	平成 1 年 10 月 19 日 ~ 1 年 10 月 20 日		
調査業者名	株式会社 中部ワエルボーリング社 電話 (052-781-4131)	主任技師	代理人	コシノ 鑑定者	近藤 義明	深尾 幸男
孔口標高	KBH +0.13m	方位	試験機	KR-100	ハンマー	トンビ
総掘進長	25.28m	角度	エンジン	NT-13	ポンプ	Y-6

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験		原位置試験		試験採取		掘進月日	
									10cmごとの打撃回数	10cmごとの貫入量 (cm)	深度 (m)	試験名および結果	試験番号	採取方法		
1				赤茶灰 ~ 茶灰	中位			礫はφ2~10mmの円から亜角礫 細~中砂を混入する 含水量は中位 粘着性あり 攪混されて不均質である	1.15	5						
2				褐灰 ~ 暗灰	軟らかい			腐植物を多く混入する 含水量は多く軟弱である 粘着性あり 細砂を混入する	1.45	5						
3	3.50	-3.47		シルト混じり粘土					2.15	5						
4	3.50	-6.87		砂					2.45	7						
5	3.20	-7.57		砂					3.45	1						
6	0.90	-8.87		砂質粘土					4.15	2						
7	1.00	-9.87		粘土					4.45	2						
8	2.75	-13.82		シルト質粘土					5.15	2						
9	0.45	-14.27		シルト					5.45	2						
10	4.50	-11.00		シルト					6.15	2						
11	2.75	-13.82		シルト					6.45	62						
12	0.45	-14.27		シルト					7.15	18						
13	0.45	-14.27		シルト					7.44	17						
14	3.20	-17.50		シルト					8.15	21						
15	0.70	-18.17		シルト					8.45	17						
16	1.40	-19.57		シルト					9.15	17						
17	0.40	-22.17		シルト					9.45	17						
18	2.10	-24.87		シルト					10.15	21						
19	0.56	-25.23		シルト					10.45	22						